

## 南部秘境グループ



### ゾーン名 1.【天竜峡下流域ゾーン】

#### 1-1 ゾーンの特徴

- ・天竜川兩岸、渓谷（河畔林・里山・山）の景色が魅力的です。
- ・泰阜ダム・平岡ダムの直下では、水が不足しています。
- ・ダムサイトに散策路があります。
- ・道路上から眺める景観と、ボートでダム湖を探索する景観は、面白いほど違います。
- ・ダムの湛水区間に多くのゴミがあります。
- ・南宮峡の堆砂が進んでいます。
- ・かつての南宮峡は、人が集まり賑わいのあった場所です。
- ・南宮峡の新南宮橋が完成してから、周辺の状態（河道・自然・人の流れ・コミュニティ）が変わってきています。

#### 1-2 整備・保全・利用の方針

- 1.ダム湖周辺の景観を楽しむ場所にします。
- 2.豊かな自然の保全に努めます。
- 3.まち中を流れる天竜川を身近に感じ、日常的に人が集まる南宮峡にします。
- 4.心の安らぎを感じる場にします。
- 5.上下の連続性・移動性が確保される場にします。

#### 1-3 具体的な方策として

- ・ダム下流への放流により、ダム直下の水量を確保します。
- ・川底・ダム湖の堆砂を撤去します。
- ・ダム湖周辺の景観を楽しむために、自然環境と調和する散策路を整備します。
- ・南宮峡に、多様な人々が楽しめる親水公園を整備します。
- ・ダム湖周辺の自然環境は大切に保全します。
- ・上下流の人々が交流する「川の駅」を整備します（鉄の駅・道の駅との連携）。
- ・泰阜ダム・平岡ダムと他ゾーンのダムの機能を連携・補完することにより、既存施設の有効活用を図ります。
- ・水辺らしさに配慮し、自然素材の護岸を整備します。      などが考えられます。

### ゾーン名 2.【天竜峡下流域支川ゾーン】

#### 2-1 ゾーンの特徴

- ・万古川には、自然がそのまま残っています。
- ・和知野川にも自然が残っています。しかし、川の水が昔より汚れて来ています。上流域の水が汚れています。
- ・万古川のキャンプ場は最小限の施設だけですが、和知野川では人工的な施設が多くなっています。
- ・集落の中や近くを流れる支川が多くあります（阿智川・門原川・千木沢など）。

#### 2-2 整備・保全・利用の方針

- 1.天竜川支川の多様な自然環境（動植物・景観など）を体験する場所とします。
- 2.昔からの手つかずの景観を残し、楽しむ場所とします。
- 3.人々が野生に目覚める場所とします。
- 4.上流域の集落では、流入水の水質を向上に努めます。
- 5.山を守り、川を守り、生物の生息・移動空間の保全に努めます。

#### 2-3 具体的な方策として

- ・手つかずの自然環境を保全します。
  - ・山と川とのつながりを保全します。
  - ・人が入れる空間と入れない空間を区別します。
  - ・キャンプを通じての交流場所を整備します。
  - ・川に親しむ子供達を育てる場所を整備します。
- などが考えられます。

### ゾーン名 3.【遠山川ゾーン】

#### 3-1 ゾーンの特徴

- ・造山運動のダイナミズムをかいま見ることができます。
- ・川の恐ろしさを体感できる場所があります。
- ・在来種のイワナが少なくなっています。アユが釣れなくなり、かじかがいなくなりました。魚の生息環境が悪くなってきているようです。
- ・下流域は、昔に比べ色とりどり（赤・青・緑）の岩や礫が少なくなりました。また、河床低下が進んでいる場所があり、その影響で生態系が変わってきています。
- ・秘境らしさを求めて訪れる人が多い場所です。

#### 3-2 整備・保全・利用の方針

- 1.秘境を求めて訪れる人々が楽しめる場所とします。
- 2.天竜川支川の多様な自然環境（動植物・景観など）を体験する場所とします。
- 3.川の特性に配慮し、その川らしさを活かすことに努めます。（秘境は、秘境たるべし）
- 4.山から海への自然な土砂の流れを保全します。